



FAS住まい新聞

発行責任者
俣福地建築
北斗市中野通 324
Tel 0138-73-5558
fax 0138-73-8460

◇ 収納スペースを考える ◇

家づくりにおいて収納スペースは、無駄をつくらないよう上手に確保しなければ、住んでからとても使い勝手が悪くなってしまいます。

一般的には、床面積に対し10%程度が必要だと言われています。靴、本、食器、子供の作品、トロフィーや記念の写真など、サイズや構成の仕方によって、使い易さが異なります。

本だけを考えても単行本もあれば、ハードカバーなどではサイズも異なります。靴、サンダル、雪国や寒冷地では防寒靴などと収納サイズが異なります。

今住んでいるアパートや借家などで、実際の生活に使用している、小物関係の寸法も測っておく事がとても肝心です。

家具や家電などの大きなものは測っていても、意外と雛人形のケースや兜の収納場所などは、忘れがちですので、注意をすべきです。

◇ 将来を見込んだキッチンまわり ◇

最近の家電製品は、次々と新しく素晴らしい機器が発売されます。炊飯器やレンジ、パン焼き器など、便利な家電製品が矢継ぎ早に開発販売されます。

今、使用している家電製品のサイズなどは分かっているけど、きっと将来必要となると思われる家電製品なども検討しておくことも大切です。

今後の家族構成は、例えば子供が生まれ、成長し、巣だって行くことも想定しなければなりません。

また、夫婦二人の生活になることは容易に想定できますが、その際の住まい方や趣味など、高齢になった後の事まで予測して、収納スペースや電気コンセントの数や位置計画を検討しておくといいでしょう。

特にキッチン周りの作業動線は、自分が高齢者となった場合の想定をしたくない心情もありますが、家づくりにおける重要な要素と言えます。

◇ ゴミの分別を考慮して ◇

昔は、ゴミを分別しないで捨てていました。今はお金を出して捨てる時代です。燃えるゴミなのか、不燃ゴミなのか、ビン、カン、ペットボトル、ビニールの包装容器などと資源ゴミなどは、地域ごとに定められています。

家族によってビールやジュースの飲む量が多い場合は、その対策を行っておくべきです。ゴミの収納スペースは、作業場の邪魔、衛生上の問題、見栄えな

どと、生活を始めてから気が付くことばかりです。

生活で必ず発生するゴミに関する対応は、設計段階から予め想定しておくことが賢明だと思われます。

ショールームや総合展示場は、生活実態を具現化させるより、家を売らるために見る人の夢や希望を喚起させるための工夫されています。

見学会などに行った際は、自分達家族が、実際に生活した場合のイメージを思考しながら見るべきでしょう。

◇ ゴミにも権利があります。 ◇

設計の際に掃除機の置き場所は、ほぼ想定されています。ところが読み終わった新聞や雑誌、学校でもらってくる通知書類や投函チラシなどの置く場所は、ないがしろにされている場合が多いようです。

脚立、濡れた傘やレインコート、雪で湿ったコートやブーツ、ベビーカーなどの置く場所は、本や書籍とは別に収納すべきです。

「綺麗に片付かない、邪魔」などと思わないよう、良い家づくりのため、建築前の生活で不便なことなどをメモしておくことをお勧めします。

(推進事業部 扇 寿志)

季太の知恵袋

手についた食べ物のにおいを取る方法

お魚は食べたいけど、手が生臭くなるから嫌だって？

確かに、魚やにんにくのにおいは、石鹸で洗っただけじゃ、なかなか取れないよねえ。

そんな時は、古歯ブラシに練り歯磨きを少々つけて、指先を中心に擦ってごらん。まんべんなく擦ったら、水かぬるま湯で洗い流すだけ。あら不思議、魚やにんにくの、きついににおいが、ミントのさわやかな匂いに代わっちゃうだろ！

もうひとつ、魚のにおい取りには煎茶のお茶がらを使う方法もいいねえ。石けんで洗ってから、お茶がらを手にすりこむだけ。あとは水で流すだけで、においが取れるよ。

建築情報や知識は、ファース本部公式サイトで！



ファースの家

検索

